

めあて 「 $y=ax^2$ 」について理解しよう



教科書 P.93 を読み、下の空欄をうめなさい。

学習のポイント

$y$  が  $x$  の関数で、次のような式で表されるとき、 $y$  は  $x$  の2乗に比例するという。

$$y =$$



教科書 P.94 例2 を読み、式の求め方を確認しなさい。



教科書 P.94 問4 を解きなさい。

解答

(1)  $y=ax^2$  に、 $x=3, y=27$  を代入する。

$$\begin{aligned} 27 &= a \times 3^2 \\ 9a &= 27 \\ a &= 3 \end{aligned}$$

よって  $y=3x^2$



$y=ax^2$  の具体例は、教科書 P.92 から P.94 までを読んで確認してみよう。

(2)  $y=ax^2$  に、 $x=1, y=-5$  を代入する。

$$\begin{aligned} -5 &= a \times 1^2 \\ a &= -5 \end{aligned}$$

よって  $y=-5x^2$

(3)  $y=ax^2$  に、 $x=-2, y=8$  を代入する。

$$\begin{aligned} 8 &= a \times (-2)^2 \\ 4a &= 8 \\ a &= 2 \end{aligned}$$

よって  $y=2x^2$

次のプリントでは

$y=ax^2$  のグラフについて 学習します

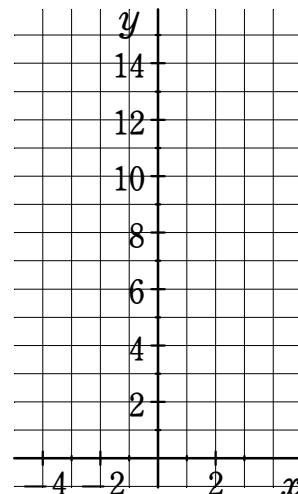


めあて 「 $y=ax^2$ 」のグラフについて理解しよう



教科書 P.95 と P.96 を読み、 $y=x^2$  の表とグラフを書きなさい。

$x$	-3	-2	-1	0	1	2	3
$y$							



必要に応じて表を書きながら、次のグラフを書きなさい。

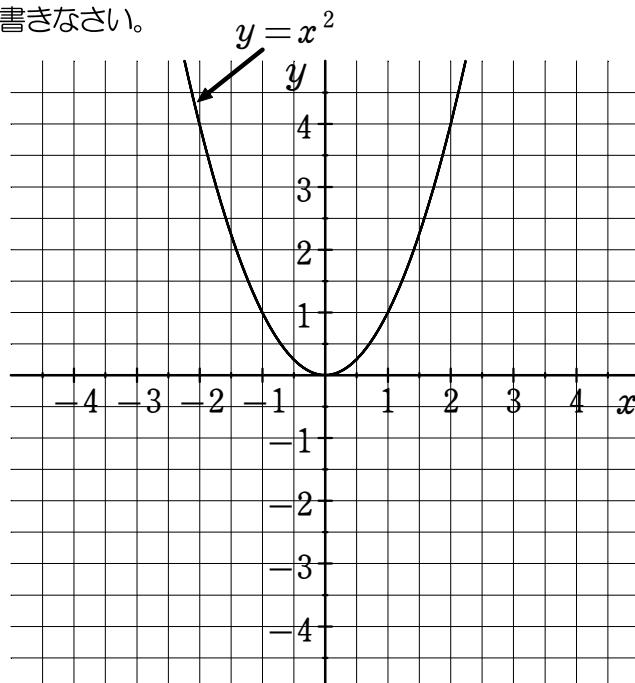
①  $y=-x^2$

②  $y=3x^2$

③  $y=-3x^2$

④  $y=\frac{1}{3}x^2$

⑤  $y=-\frac{1}{3}x^2$



上のグラフと、教科書 P.101 を見ながら、 $y=ax^2$  のグラフの特徴について次の空欄をうめなさい。

学習のポイント

$y=ax^2$  のグラフの特徴

- ・ 必ず  を通る。
- ・  について対称な曲線である。
- ・  $a > 0$  のときは ,  $a < 0$  のときは
- ・  $a$  の値の絶対値が大きいほど、グラフの開き方は
- ・  $y=ax^2$  のグラフは  と呼ばれる。

めあて 「 $y=ax^2$ 」の変域と、変化の割合について理解しよう



教科書 P.102 から P.105 までを読み、1次関数  $y=2x+1$  と  $y=2x^2$  について、下の空欄をうめなさい。

表

$$y = 2x + 1$$

	+1	+1	+1	+1	
x	0	1	2	3	4
y	1	3	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	+2	+2	+2	+2	

変化の割合

$y=ax+b$  の変化の割合は、 $x$  の値がどの値からどの値まで増加しても  で、  
 に等しい

表

$$y = 2x^2$$

	+1	+1	+1	+1	
x	0	1	2	3	4
y	0	2	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	+2	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

$y=ax^2$  の変化の割合は、一定では



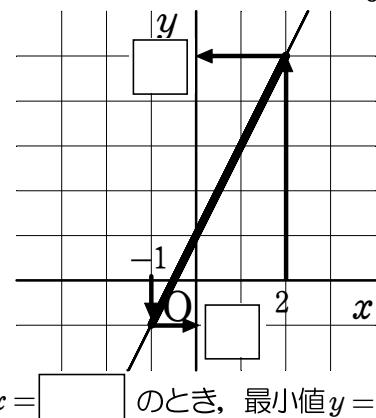
だからグラフは曲線になるのですね。

変化の割合についての具体的なことはP.105とP.106を読みましょう。

グラフ

$y=2x+1$  について、 $x$  の変域が  $-1 \leq x \leq 2$  のとき、 $y$  の変域を求めたい。

この関数のグラフで、 $-1 \leq x \leq 2$  に対応する場所は下の太線の部分であるから、 $y$  は



変域

$x=\boxed{\quad}$  のとき、最小値  $y=-1$   
 $x=\boxed{\quad}$  のとき、最大値  $y=5$

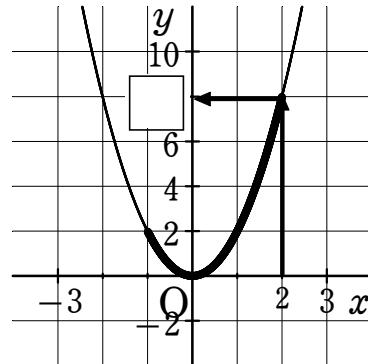
をとることがわかる。

したがって変域は  $-1 \leq y \leq 5$

グラフ

$y=2x^2$  について、 $x$  の変域が  $-1 \leq x \leq 2$  のとき、 $y$  の変域を求めたい。

この関数のグラフで、 $-1 \leq x \leq 2$  に対応する場所は下の太線の部分であるから、 $y$  は



$x=\boxed{\quad}$  のとき、最小値  $y=0$   
 $x=\boxed{\quad}$  のとき、最大値  $y=8$

をとることがわかる。

したがって変域は  $0 \leq y \leq 8$



教科書 P.107 の空欄をうめなさい。